

8 指令概要

無線等を有効に活用した支援・情報収集体制の確立を図るとともに、119番通報者に対して初期消火や応急手当等の口頭指導を行い、火災による被害の軽減、傷病者の救命効果の向上を図っています。

【第80表】119番の受信件数

(令和7年中)

区 分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月 別	93,960	8,579	7,132	8,088	7,190	7,204	7,697	8,256	8,745	7,531	7,686	7,600	8,252
1 日 平 均	257	277	255	261	240	232	257	266	282	251	248	253	266

【第81表】月別各種指令件数

(令和7年中)

区 分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	66,390	6,457	5,329	5,830	5,135	5,028	5,149	5,865	6,141	5,288	5,109	5,206	5,853
火 災	255	31	23	18	16	16	24	30	23	13	24	13	24
警 戒 (ガスを含む)	1,526	106	111	138	102	101	126	127	196	95	136	120	168
救 助	195	17	14	26	9	18	12	6	24	11	23	17	18
救 急	64,414	6,303	5,181	5,648	5,008	4,893	4,987	5,702	5,898	5,169	4,926	5,056	5,643
1 日 平 均	182	208	190	188	171	162	172	189	198	176	165	174	189

【第82表】消防指令センターによる口頭指導件数・奏功事例件数及び口頭指導奏功事例

(令和7年中)

口頭指導件数及び奏功事例件数			
	指導内容	口頭指導件数	奏功事例件数
火災	初期消火	22	6
	気道確保	358	2
	人工呼吸	7	
	胸骨圧迫	1,770	50
	止血	77	
	被覆	3	
	固定	0	
	移動	291	5
	体位変換	649	13
	おたすけAED	2	
	AED貼付	221	4
	AED通電	15	6
	異物除去	65	12
	熱傷	7	
	指趾切断	2	
	その他	275	3
	総数 ※重複あり	3,764	101

※重複なしの奏功事例の総数にあては、63件。

奏功事例（火 災）	
事 故 概 要	指 導 内 容
住宅から黒煙と炎が出ている	住人に避難するように指導
土手が燃え、家に燃え移りそう	消火をしていたが、避難を指導
高速道路上でトラックが炎上	安全な場所で待機を指導
雑草が燃え、火が家に移りそう	初期消火の継続と避難を指導
ベッドが燃えている	水をかけるようを指導
鍋から出火した	濡れたタオルで鍋を覆うよう指導

主な奏功事例（救 急）	
事 故 概 要	指 導 内 容
38歳男性 心肺停止	胸骨圧迫・AED
45歳男性 心肺停止 (Livell19)	胸骨圧迫
81歳女性 心肺停止	胸骨圧迫・AED準備
47歳男性 心肺停止	胸骨圧迫
77歳女性 心肺停止	胸骨圧迫
2歳女児 気道異物	異物除去
57歳男性 心肺停止	胸骨圧迫
51歳男性 心肺停止	胸骨圧迫
20歳男性 心肺停止	胸骨圧迫、AED
95歳女性 気道異物、心肺停止	異物除去、胸骨圧迫、体位変換

※奏功事例については、社会復帰事案の一部を抜粋したもの。

消防通信系統概要図

令和8年4月1日現在

